

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No. 7013-2 (H.24)No. 7013-2

事務事業名		看護専門学校(病院事業会計)	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
市立病院事務局	看護専門学校(教務庶務室)	長谷川 美恵子	64-7700
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 6年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐむ教育の充実
	施 策	1	学校教育
	小 施 策	4	高等教育
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード
病院事業会計		(中事業名) 予算書事業名
款		
項	(小事業名)	
目		

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>自然に囲まれた素晴らしい環境の下で感性豊かな人間性を養うことを通して、看護の対象である人間を幅広く理解し、また対象の健康上の問題を解決するために必要な看護に対する知識、技術、態度を身につけることにより、現代の保健医療の進展、変化に対応できる看護の実践者の育成をめざし、また、人々の生活基盤である地域を理解し、個人個人の生活特性を生かした看護展開ができる能力を開発するために、在宅ケアの看護技術の修得および継続看護に重点をおいた教育を実施しています。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>感性豊かな人間性と現代医療に対応できる知識・技術・態度を身につけた地域社会に貢献できる看護師の育成</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	平成23年度入学者数29名 平成24年3月卒業生数21名 (うち市内就職者数8名) 国家試験合格者数18名	平成24年度入学者数23名	補助金・交付金	その他 ()	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
直接事業費	89,731千円	90,842千円	定員20名	定員20名	定員20名
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()	23,592	23,448	23,448	23,448
一般財源	(0) 66,139	67,394	67,394	67,394	67,394
人工数	職員	8.00人	8.00人	8.00人	8.00人
	臨時職員等	2.43人	2.43人	2.43人	2.43人
概算人件費	(0千円) 67,772千円	76,159千円	76,159千円	76,159千円	76,159千円
+ 総事業費	(0千円) 157,503千円	167,001千円	167,001千円	167,001千円	167,001千円

本シートの概算人件費欄には、実際に要した(要する見込みの)人件費を記載しています。
 平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。
 平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	-	-	-	-	20
	実績		25	22	23	29	23
活動指標	目標	人	-	-	10	10	10
	実績		4(4)	7(6)	5(5)	8(8)	
	目標	人					
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
地域に貢献できる優秀な学生を確保するため、公募推薦入試のPRに従来の県内、奈良県に加え、京都、徳島、香川、滋賀にも募集エリアを拡大し学生募集を行った。その結果、拡大したエリアからの問い合わせが数件あり、京都府および徳島県からそれぞれ1名ずつの学生が入学した。	今後も引き続き、名張市内医療機関へ就職が見込まれる成績優秀な学生の確保に努め、就職者数の増加を目指す。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
現在の経済低迷により資格取得に繋がる「看護」の専門学校への進学希望者は増加の傾向にあるが、依然として4年制志向が強い。今後も継続して受験者の増加を見込むことは難しい。また、本校は近隣の学校に比べ、低額の学費であるが、近年の景気低迷は家庭の経済状況を年々厳しいものにしており、学生の学業継続を困難なものとしている。	

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	現在の手法が妥当であるが、今後も、効果を高める方法や工夫を検討していく。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載 これまでに民営化を視野に入れた経営形態の見直しを検討していたが、「公設民営方式」は現行法上不可能であるため、病院の運営形態を見極めながら、現状の運営を継続するのが最良である。

特記事項